１．建学の理念と大阪滋慶学園について

実　学　教　育
人　間　教　育
国　際　教　育

建学の理念とは、学校の教育に対して持っている基本的な考え方です。すべての授業・研修・学校行事等この理念をベースに組み立てられており、学校にとって大変重要な考え方なのです。

①実学教育とは

各々の業界で活躍することを夢見ている学生諸君にとって、その業界で仕事をするための基本的な技術であり、知識であります。また、資格を取得する必要がある場合は、それに合格しうる技術・知識を習得してもらうことを何より大切と考えています。

即戦力となる為に学力（技術力・知識力）を磨くわけです。一時間といえども無駄な授業はありません。まず、出席すること、そして授業に没頭することが大切です。

②人間教育とは

いかに技術的に優れていても人間性に欠けていたら決して信頼される人間にはなりません。学校には、“今日も笑顔であいさつを”の標語がいたるところに掲示されています。笑顔のあいさつから一日が始まり、人と人とのコミュニケーションが始まります。むずかしい社会のしきたり・きまりも相手を尊敬し、信頼するあたりまえの簡単な行為からときほぐされてゆきます。

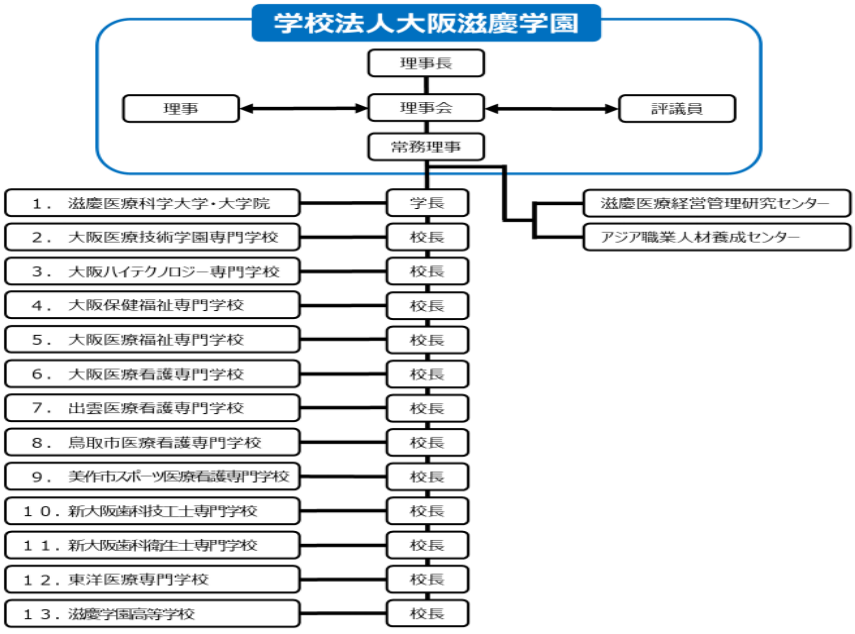
授業・研修等の種々のカリキュラムを通じて人の大切さの精神を育み、心の問題を考え社会人としての基本的なマナーはもちろん、ビジネスマインドをしっかり持ち、社会人としての身構え、心構えをしっかり持った人材の育成に力をいれています。

③国際教育とは

２１世紀はボーダーレスの時代といわれています。あらゆるジャンルにおいて外国の方々とビジネスをする事が普通のこととなるでしょう。また、インターネットの利用も急激に増えることでしょう。国際化＝英会話とのみ考えるのではなく、コミュニケーションの手段として英会話（英語理解力）は大切な要素となりますが、相手のことを考え、相手の国のことを考えることも大切なことです。同時に自国のこと（歴史・文化・伝統）、自分のことを良く知り主張できることも大切です。つまり国際的な感性を学び知ることの方がもっと大切です。

留学生との交流・海外研修・英会話授業・インターネット利用等を通じて国際性を高め、国際的な感性を身につけてもらうことを建学の理念としています。

【大阪滋慶学園組織図】



浮舟　邦彦

学校法人大阪滋慶学園　理事長
米ウェストフロリダ大学名誉博士

大阪滋慶学園は「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことをミッションに、建学の理念を明確に、開校以来学園運営をしてきました。

２１世紀は知識社会といわれるように、スペシャリストやテクノロジストが社会の中核を占めます。高等教育機関でその基礎を学び、それぞれの専門の職業にアイデンティティをもったプロフェッショナルとして社会に貢献していきます。

本学園は１９７８年の創設以来、医療を中心に福祉、健康分野に２万人を超える有為な人材を送り出しています。これら生命や健康に関わる業界で卒業生の皆さんはしっかりとその社会的使命を受け止めながら生き生きと活躍しており、学生の皆さんもそれに続くことになります。

そのために、国家試験のある学科は、希望者全員が試験に合格できるまで一人一人の学生をサポートしていきます。国家試験のない学科も、「高度専門人材」として業界の即戦力として働ける技術と知識を身につけてもらいます。

そうした「実学教育」のバックボーンとして業界との連携教育や滋慶医療科学大学・大学院があります。それに加えて、あいさつのできることやコミュニケーション力、プレゼンテーション力など社会人基礎力を養うキャリア教育としての「人間教育」、グローバル社会に対応できるための「国際教育」を教育理念として、開校以来変わらず、建学の理念を大切にしてきました。

皆さんがこの学園で身につける「専門スキル」は、それ自体が世界に通用する「共通言語」です。１９８０年代から海外の大学や研究機関、専門学校と提携を結び、国際学会の開催や教員・学生の交換・交流、留学生の受入れなど「国際教育」に力を注いできたのもそのためです。

長く思える一生も瞬（またた）くうちに過ぎて行くものです。どうかこの学園での一瞬一瞬を大事にしてください。どんなにＩＴが進化しようと、人間の基本的な営みは変わることはありません。友人、先生、業界の方々との出会いを大切に夢にチャレンジして下さい。

【グローカルカレッジについて】

本学園は、国際教育の理念に基づき、グローバル化が進む現代社会において、広く国際的に通用する人材育成に力を入れています。海外研修や交流を通して、学生・教職員がアメリカやアジアを中心とするグローバル（国際的）な視野と高い志を持ち、ローカル（国内的）でたくましい魂と行動を兼ね備えた人間形成を行う高等職業教育機関「志学専門学校」としてグローカルカレッジを目指しています。